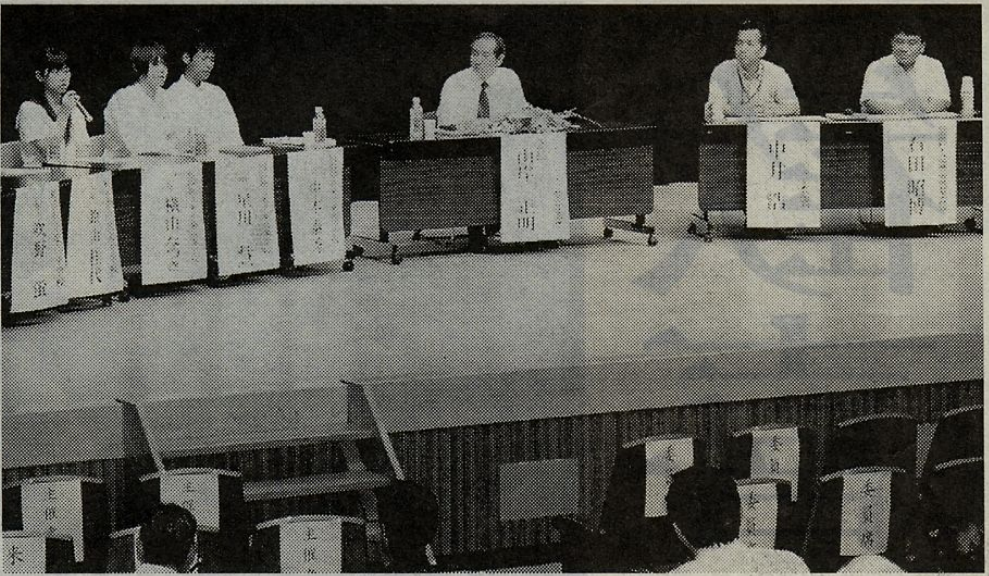


携帯電話やインターネットの付き合い方について意見を述べるパネリストたち。24日、米子市淀江町西原の市淀江文化センター



中高生賛成 大人は否定

2002. 8. 25

ケータイ・ネット

「便利」「危険」を議論

淀江で考えるフォーラム

携帯電話やインターネットとの付き合い方を考えるフォーラムが24日、米子市淀江文化センター（同市淀江町西原）で開かれた。パネルディスカッションや事例報告などを通して便利さと危険性が共存する現状を認識し、より良い使い方について議論を深めた。

ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会と青少年育成県民会議が主催し、約百五十人が参加。パネルディスカッションでは中高生や保護者、教諭の計九人がそれぞれの立場で意見を述べた。

中高生は全員が携帯電話やインターネットの使用に賛成。「バスの時間や著名名を調べのに便利」「仕事で

県外にいる父親とメールで会話ができる」と

利便性を強調したが、友人がメールをめぐってけんかになったという事例もあった。

一方、大人側は否定的な立場。ケータイ・インターネット教育推進員の中井浩さんは「気を付けていても落とし穴はある」と述べ、責任能力がないうちは携帯電話を持たせるべきではないと訴えた。